



陰陽五行論 Contents

六十干支詳細 (01~20)

01 甲子 【性格】

性格は、淋しがりやであり、また、我儘な質もあります。

何時も人生にロマンを求めていますので、性格に所有する淋しがりやなどころは見えず、周りの人には明るい人に見えます。

理性的な面と古風的な面の所有者でもあり、比較的、単純な性格の持ち主でもあります。

単純な性格から物事を素直に受け取り易く、お人好しなどころもあります。

老人ぽい質の理屈屋さんの雰囲気を持つわりには、周りの人には好かれます。

人生において、あまり敵を作らない人になります。

01 甲子 【生き方】

生き方は、子供の時の育ち方によるところが多く、どのような環境で過ごしたかで人生が決まり易くなります。

もともとは理性が土台となっているので、子供の時代に精神的なことを多く受けて育つと、大人になってから充実した人生を体験する運を所有しますが、もし可愛がられて育ったり、精神的な要素が欠けて、過保護な育ち方になると、良い結果(良い運)は望めなくなります。

専門的な知的世界、学術等の世界と、現実的世界の利益を追う人の、両極端になります。

中庸がない生き方になりやすく、その為にも子供の時に中庸な家庭(日常生活が平和で庶民的)でない方が良く、極端に貧しく育ったりすると良い方向に力を發揮します。

02 乙丑 【性格】

人生を確実に堅実に歩んでいきます。

実際に努力家であり、ゆったりした人生になります。

しかし、外見では穏やかな人に見えますが、内面の性格は、なかなか頑固なところがあり、自分の思った通りの生き方を貫いていきます。

かなり理性的な物の考え方をしますが、その思考の幅が狭いため、自分の気に入ったものがあると、何処までもそのことを追求していくようになります。

そのため、性格的に何処か融通の効かない、不器用な質になってしまふこともあるでしょう。

02 乙丑【生き方】

生き方は、着実な動き、堅実な動きから、どうしても大器晩成型になってしまいます。

社会人に成り立ての二十代、三十代では、実力を出すことが難しく、様々な経験を身に付け、実力の蓄積をしながら努力を積み重ねていって、ようやく世の中で活躍をするような人になります。

男女を問わず、結婚してからが人生のポイントになり、結婚相手が今迄の人生の努力を応援してくれるような人であれば、運が大いに伸びます。

但し、配偶者が後押しをしてくれたとしても、運が開発されるのは中年以降になります。

また、運が伸びるような中年を迎えたとしても名薈運は少なくどちらかというと財運が強くなっています。

03 丙寅【性格】

性格は明るく、夢や希望の多い人になります。

その上、前進力も大いに持ち合わせ、発展性の要素があります。

また、機知にも富んでいて、周りの人に明るい雰囲気を与えることが多く、皆に好かれる不思議な要素を所有した人になります。

多くの人に好かれる魅力ある人として現れます。

その上偏りのない意見の所有者で、適当なバランス感覚を所有しています。

弱点は、物事を深く追求していくことが不得意になってしまうことです。

物事を深く追求していくと、どうしてもバランス感覚から外れてしまします。

03 内寅【生き方】

生き方は、基本的に器用な生き方になりますので、何のような職業に就いても、一通りこなせるでしょう。

ただし、何のような職業であっても、人並み以上に一通り出来る様になりやすい為、器用貧乏になり、単なる便利屋さんで終わってしまうことも多くなります。

自分に本当に合っている職業を見つける事が難しい人も言えます。

改良方法は、中途半端に物事を終わらせず、とことん探求し極めて行く意識を持つことです。

04 丁卯【性格】

性格は兄弟愛・肉親愛・親を思う気持ちが、とても強い人です。細かいところまで良く神経が届き、内面的には人を気遣うことの強い人です。

しかし時には、大胆に、かなり思い切った世渡りをすることもある人になります。

ただし、いざ事を起こすとなると、相當に考え込み、様々なことに神経を使い、それから始動するようになるので、なかなか実行しない人に見えるでしょう。

しかし、いざという時にはその行動力は、大胆かつ勇気と迫力のある動きとなります。

一概には言えませんが、このような人を支えているのは、自分の夢や理想になります。

人生において、何時でも自分の夢や理想を追っているような性格となり、夢を果てしなく追い求める、心に休息のない性格となります。

04 丁卯【生き方】

生き方は、例え親思い肉親思いの人であっても、早くから親元を離れ、故郷を離れた方が成功し易くなります。

夢を追い、身内に制約されることなく自由に生きることが、一つの飛躍となり、大成功の道になります。

ただし、人生全体では若年期は比較的平和だとしても、晩年期になると相當に波乱の状態になる傾向があります。

晩年期は夢や理想を追い求める事を手放していく事で、安定した晩年期を過ごす事が出来ます。

05 戊辰【性格】

独力で自分の人生を切り開いていくような性格となります。当然の事として、強い精神の所有者にもなり、また、強運の持ち主となります。

ただし、幼少期にはその強烈な個性や強い運勢が内側に入り込み、内向的となり、何を考えているか分からぬ印象を、人に与えてしまいます。

しかし例え幼少期であっても、自己の目標、生き方等が定まった時には、一気に自分の持つエネルギーが表面化していくことになります。その時は他の誰もが真似することの出来ない、独創的で新しいものを生み出していく人物となります。

また、人生において、どんなに困難な状況に立たされても、強い運勢と精神力で乗り切っていき、その結果、人生の成果を得ることの多い人になります。

これだけ性格的に強く、独力で生きていくような人は、集団の中に入ったり、組織に属したりすると自分の力量が発揮されなくなります。

05 戊辰【生き方】

生き方が遅しくなるのは当然ですが、もし組織に属したり、集団の中に入ると、自分の遅しさを持てあまし気味になってしまいます。

自分の人生は自分で選び、自分で決めていくような生き方、未知分野とか既成の概念では存在しなかったような仕事、今後大いに発展していくような仕事だがまだ誰も手をつけていないような分野が進む道になるでしょう。

自分の持てる力を全て出すことが出来れば人生における生きがいともなり、その時には金銭的なことなど全く関係なくなります。

あくまでも自分の生き方、生きがいを重視するようになるので有形のもの(財産等)はあまり期待出来ません。

06 己巳【性格】

性格は、内剛外柔の質となります。

自分でこうと決め付けたら心の中では決して譲ることがありますが、表面的にはそのように見えません。

また、神経の極端に図太い面と、非常に纖細な面を持ち合わせているような複雑な人でもあります。

あの人気がこんなことで、と感じるほど気の弱いところがあると思えば、ある面では開き直りではないかと思われるほど強気の人になります。

内面の剛と表面の柔で包む性格が、とても粘り強い人となりを作りだし、運勢の上からは女性が所有すると良い干支となります。

06 己巳【生き方】

生き方は、運勢が元々強い人ですので、子供の時から恵まれた環境で育つとマイナスの要素となり、大人になってからの伸びが期待出来ません。

もし運が伸びることがあっても、相當に年齢が重ねてからになります。

しかし、エネルギーが大きい人ですから、どんなに運が低迷していようとも、大人になってから徐々に回復していき、十年、二十年かけて這い上がっていきます。

ただし、二十年位かけて這い上がったとしても、その度合いは子供の時代の幸運の程度に留まってしまいます。

結局のところ、親の恩恵等を受けず、自分の力で切り開く人生であれば社会に出た段階で運が上昇していくようになります。幼少期に悪い環境、恵まれない育ち方で発展していく人です。

07 庚午【性格】

性格は竹を割ったようにさっぱりしたところがあり、直情的であります。

精神的な面もありますが、ものの考え方、捉え方は比較的簡単であり、単純に思考をしていき、周囲の物事には積極的な攻撃の質も現わしていきます。

もし男性ですと長所になる場合が多いかもしれません、女性がこの干支を所有すると男勝りで気の強い面が出てします。

また、女系的な家庭か女性の権力が強い家庭に生まれてしまった場合は、その気の強さや、男勝りの質が更に強くなり、気の強さと運の強さが同時に現れることになります。

07 庚午【生き方】

生き方は、宿命に天恍星が出ることからも言えるのですが、若くして生地・生家を離れるようになります。

そのために離郷して自分の生き方、目的を探していくところに運の伸びが存在しています。

当然、精神的な試練が強く与えられる人にもなります。

若くして離郷した場合の内面の淋しさは孤独な人となりを作りますが、表面的にはそれを隠すかのようにきらびやかで明るい人柄を保ちます。

そのような状態が周りの人を楽しませ、明るくし、特に芸能の世界において活躍の場があるようです。芸能の世界以外に進んだとしても、その業界で活躍をして大きな存在感や影響力を發揮していく事になります。

08 辛未【性格】

性格は引っ込み思案の要素が強いのですが、芯はしっかりとっています。

その芯の強さから、周囲の人々に相談をすることなく黙って事を始めるようなところもあり、不言実行型でもあります。

どんなことに対しても派手なことをする訳でもなく、困難・苦難にあっても強い意志と根性で乗り切っていきます。

自分のペースを心得ていて、自分の力量で単独で行動するような性格となります。

08 辛未【生き方】

生き方は、子供の時代は気弱で素直な人に見えますが、決して気の弱い人物ではなく、心には強い意志があるのですが、それを言い出すことが出来ない状態なのです。

つまり、両親の育て方が、如何にこの人の持ち味を引き出してあげるかになるのですが、もし子供の時に祖父母の存在があり祖父母に育てられると実に素直で良い子供に育っていきます。

しかし、現実社会においては、引っ込み思案の要素から、どうしてもおいてきぼりになりやすく、激しい競争の世界に不向きとなります。

そのために、絵・音楽・文学の世界に進むことも一つの生き方になります。

自分の独自の世界観を構築して、自分の道を歩み出す事で人生が開いていきます。

09 廿申【性格】

知性豊かな人になる要素がありますが、子供の時には、自他ともに特別に頭が良いと感じる事はありません。

逆に親がいくら勉強で良い成績を取れるように教育しても、大きな結果が出る訳でもなく、ぱっとしたところがありません。

自意識過剰の子供の時を過ごしやすいため、親が押しつけて勉強させても駄目です。

本人が自覚を持ち、本人が知りたいと思うことがあってから勉強に対する意欲が沸いてくる形になります。

そうすると、欲が勉強に対する向上心となり、知性がどんどん身に付いていくことになります。

特に、自分が体験したこと、自分の行動から掴んだものが、血となり肉となって残っていきます。

09 壬申【生き方】

生き方は、人生に対してどんなことでも、何のような分野においても、知識欲が旺盛となりますので、学者や研究者、知的産業に進むと、大いに伸びる人となります。

自分で研究し、調べ上げたものを後進に伝えていくような教育者の役目も持つ人になります。

この干支を所有する人は、長子か末子、または一人っ子に多く、中間に生まれることは殆どありません。

また配偶者も同様に、長子か末子か一人っ子に縁が生まれます。

10 癸酉【性格】

性格は素直で誰からも良い子だと言われるタイプになります。

思考力もあり、知識の幅も広くなります。

当然のこととして、子供時代から頭の回転が早いため、記憶力が良く、頭の良い子になります。

性格的な欠点は、品性の伴わない知性となる場合があり、思考力が良くて同時に品性まで良いとは限らないことです。

このような人は、子供時代の情操教育(感情や情緒を育み、創造的で、個性的な心の働きを豊かにするための教育、および道徳的な意識や価値観を養うことを目的とした教育)が重要となり教育次第で品性が身に付くようになります。

もし、品性が身に付くことがない場合は、世渡り上手な、ズル賢い人間になる恐れもあります。

10 稟酉【生き方】

生き方は、人生を渡っていく晩年期に入ると、段々と信仰に引かれるようになったり興味を持ち、信仰心が生まれたりします。

また、宗教的なことを取り入れた生活態度になったり、宗教心厚い人生になって充実する生き方となります。

運勢的にトップに立つよりは縁の下の力持ちのような生き方、補佐役的な生き方が適役となります。

幼少期に多くの友人に恵まれることにより、人生の中で多くのチャンスに恵まれる生き方となります。

11 甲戌【性格】

性格は一直線に進んでしまうような人で、物事を始めると、中途半端なことはせず、最後まで力を抜くことなく突っ走ってします。

そのため、時にはしつこさを感じるような人にもなりますが、本人は相當に努力をするようになります。

また、ある面ではロマンティックな質と、豊かな感性を持っている人でもあります。

若い時は、自分の夢・希望に燃えてがむしゃらに進んでいき、実よりも名を欲します。

当然、若年期は経済的に厳しいでしょうが、晩年期になると、逆の現象が出てきて、名より実を取るようになります。

11 甲戌【生き方】

生き方は、義理人情に厚い面があるかと思えば、理性的な面も所有する二面性のある生き方になります。

外側の世界では相當に合理性の強い生き方をしますが、身内に對しては、情的な生き方になる傾向があります。

そのため家族の犠牲になりやすく、特に女性の場合は、家族のために犠牲的な結婚をする事もあり、あまり結婚運が良いとは言えません。

もし家庭を持っても平穏な家庭とはなり難く、子供が生まれて夫婦の関係は平穏だとしても、子供で苦労したり、子供が素直で良い子であれば夫婦の間が波乱になったりします。

大体において甲戌日生まれの人は養子運となり易く、他家を継いだり、女性であれば養子をとって自分の家を継いだりします。

12乙亥【性格】

性格はある領域において悪賢い知恵の持ち主となりますので、世渡りにおいては巧みな面があります。

一つの物事を長い間追求していくことにより、やがて成功するようになるでしょう。

協調・調和の意識も強く、同列の仲間等と手を組んで進んでいくようになるでしょう。

しかし、やがて自分が前面に出てしまい、役割が上がっていく場合に問題が多く出てくるようになります。

12 乙亥【生き方】

生き方は、人生行程において、波風の強い嵐の状態が多くなります。

人生の行く手に大きな嵐が何回も襲って来るようになり、それだけに厳しい人生行程であるとも言えます。

しかし普段は脆く、大人しそうに見えたとしても、自分に襲ってくる荒波をしっかりと受けながら逞しく進んでいきます。

人生行程では、身内とか兄弟の手を借りながら進むことが運勢の上昇になります。

もし、現実的な職業の世界に進むことがない場合でも、精神的な世界、学者・芸術家・芸術者等で小成するでしょう。

家庭的には人生行程の荒波が及ぶことがあるので、どうしても平穏にはいかない傾向があります。もし、長男に生まれても、自分の家系を継ぐことが順調に行かず、他家の跡取りになりやすい生き様となります。

13丙子【性格】

性格はデリケートで、精神的にも不安定になります。

物事を即座に決定しなければならない事態に直面しても心が不安定ですから、どうしても優柔不断となります。

特に女性にその傾向が強く、それが高じた場合は、ノイローゼにもなってしまいます。

男性の場合は、ノイローゼまでとは行かなくても、心変わりが早い人になったり、気まぐれ、あるいはお天気屋さんの人となってしまいます。

当然運勢にも性格が現れますので、不安定な面がつきまといます。

ただし、運の上下が大きく出たとしましても、徳が備わっていることが多いので、人には好かれるでしょう。

また、心が不安定であっても頭が悪いわけではなく、特に記憶力・暗記力に冴えていく人となります。

13丙子【生き方】

往々にして心が不安定な面が多くなりますが、それはこの人の性格から来ることが多いようです。

しかし、どんなに人生における窮地に立たされてしまっても、何処かで誰かに救われるようになります。それだけ先祖の恩徳から守られる人なのです。

自分には特別な才能がないとしても、周りから引き立てられたりするので、自分の立場や得た地位(自分の努力で得たものではなく、行きがかり上与えられたもの)に、こだわる事がありません。

それだけに人生そのものに上下が出たり、また、先祖の恩徳を全て使ってしまうこともあるでしょう。

14 丁丑【性格】

性格は、悠々として、のんびりさが感じられますが、何か興味を持ったことに対しては、とことん追求するようなところがあります。

そして、そのように行動し、物事を何処までも追求していけば、成功する事が多くなるでしょう。

天庫星が表出する事からも判断できますが、例え長男・長女に生まれなくても、成人後に長男・長女の役割をするようになります。

また、自分の周りの人に対しては、寛大な態度になって接したとしても、自分に対しては非常に厳しい面があります。

自分で決めたことは誰が何と言おうと守っていくようになります。

14 丁丑【生き方】

生き方は、持って生まれたお人好しな性格から、周りに対する迫力に欠ける生き方となります。

しかし、人からは何となく好かれ、可愛がられますので、人生を渡って行くにつれて信用も強くなり、財産も大きく残っていくようになります。

基本的には、大きな波乱のない生き方になるでしょう。

男性の場合は、まずまずの生き方をしていくので、組織人として上手く生きていくでしょう。

しかし、女性の場合は、自分で自分の生き方を選ぶようなところもありますので、

やや苦労が増えるでしょうが、やはり男性と同じく、財運には恵まれるようになるでしょう。

15 戊寅【性格】

性格は、素直な質が強く、誰にでも陰日向なく接するようになります。

当然周りの人に嫌われることなく、人々の間で活躍するようになります。

従って、交際範囲の広い人にもなります。

また、人々の長たる器にもなっていきます。

子供の時には本当に子供らしい素直な良い子で、成長すると親・肉親思いの人となります。

あまりお世辞を言うことはありませんが、話術は心得ていて、上手いところがあり、

聞く時も素直に相手の言うことに耳を傾けていきます。

15 戊寅【生き方】

生き方は、若い内はなかなか能力が出ず、勉強・修行の時期となり、持てる力が晩年になって花開くようになります。

換言すると、典型的な『大器晚成型』の言われる人になります。

また、自らも、人生を焦ることなく、気長に生きていくようになります。

勉強や修行の期間が長ければ長いほど、人間的な器も大きくなりますので、視野にも広がりが出てきて、若い時に苦労が多くても晩年になって政治家・事業家として成功していくでしょう。

結果的に創始者、初代運的な生き方となり、美意識を高く持つて綺麗に人生を歩んでいきます。

16 巳卯【性格】

性格は、単独行動も集団行動も自在に動ける質がありますが、もし単独行動になった場合はやや自分本位となり、自分が自分がと自己を押し出し過ぎることになります。

また、短気な質が出て行動も早くなりますが、あまり持久力がなく、短期決戦となって行くでしょう。

しかし、その行動力と新しい世界を開拓していくファイトは素晴らしいものとなります。

集団行動を選んだ場合は、皆と一緒に歩調を合わせる性格が出てきます。

しかし、自意識が強く、自分が自分がという性格が消えた訳ではないので、集団の中の個人の意見を聞く耳は持たず、集団全体の意志を大切にしていくようになります。

そのようなことから、大局的なものの見方となっていくので、何時の間にか、集団のトップの位置に昇っていくような性格となります。

16 己卯【生き方】

生き方は、初代運のように見えますが、これは新しい世界に自らが乗り込んでいくファイトの持ち主だからそのように見えるのでしょうか。

ただ単に進んでいくのみの生き方のため、自らの内側を充実させることが出来難く、自分の代ではなく、後の代の人々に恩恵を与えるようになります。

前述した通り、開拓魂の所有者ですから、平穏な時代よりは動乱期の方が充分な活躍が出来るでしょう。

もし、平穏な時代であれば、補佐役としての隠れた力を発揮していった方が自己の生き方に合っています。

そして、何かトラブルが発生した場合に、ここぞとばかり自分の仕える人のために真価を發揮することになるでしょう。

17 庚辰【性格】

性格は、物事にあまりこだわらず、細かいことも考えることなく、ある面では自分勝手な人にもなるでしょう。

そのため、周りの人から見ると、豪放磊落な反面、自分勝手で無神経な面が感じられるでしょう。

しかし、本人が計算づくで、そのような態度を取っている訳ではなくまた、演技をしている訳でもありません。

唯々、天真爛漫な性格を出しているだけなのです。

他人のことを深く考えず、また、自分自身のこともあまり考え込むことのない人です。

ある意味において、シンプルに素直に生きていく人と成りとなるのです。

17 庚辰【生き方】

生き方は、平凡な生活はあまり適しません。

逆に普通の状態ではない変化の多い生き方が向いています。

活躍の場が大きければ大きいほどファイトが強くなっていく人です。

活躍の場が小さくなると、人生に対するやる気もなくなり、燃えるような生き甲斐もなくなってしまいます。

世の中が動乱期に入ると、活躍の場が必ず入ってくる人になります。

目の前に大きな刺激や課題に、意気揚々と立ち向かい、乗り越えていく人となります。

18 辛巳 【性格】

性格は、上品な質が強く、ムードを大切にするような人です。そのため現実力量は、やや物足りなかつたり、弱さが出てくるでしょう。

また、自分自身の品の良さから、どうしても高級なものに志向が偏っていきます。

男性であれば頼り甲斐は無いが、ハイセンスな人となり、女性であればおしゃれであるが派手な人となります。

しかし、一見すると分からぬのですが、内面に持つ神経は細やかなものがあり、発想も柔軟性があるので、幅広い人的交流となっていきます。

どんなに幅広い交際になつても、決して偏った見方をするようなことはなく、意識の上では平等感覚を常に持ち続ける事が出来るのです。

18 辛巳 【生き方】

生き方は、精神的な職業の範囲が良いでしょう。

しかし、その職業範囲は相當に広く、この干支を「九流の術士(丁亥と同じ才覚)」と表現するくらい、様々な分野において活躍出来る要素があります。

例えば、芸術家・宗教家・神学者・考古学者・教育者・占者等の知的産業が向いています。

また、この干支は、靈感能力も本質的に所有していて、自己開発をすればする程、靈力が開花していくので、特に未来予知能力が出易くなります。

19 廿午【性格】

性格は、ある面では激しいところがあり、周りの人からは気分屋さんに見られるでしょう。

当然のこととして、その激しさの中に、起伏があり過ぎるところから来ています。

しかし、この干支も辛巳と同様、靈的な感性を所有しています。全く初めて会った人のことが解ってしまったり、その人が今後どうなるか予知してしまいます。

思考力も冴えていて、頭の回転が早いのが特色となります。

そのため、様々な分野で活躍出来ます。

しかし、その才能に持続力がなく、瞬間瞬間で終わってしまいます。

そのため、性格的にも瞬間に生きるようなところが出てきて、結果として激しさが現れてくるのです。

19 廿午 【生き方】

生き方は、身内縁の薄い状態になっていきます。

もし、身内縁が強いようだと、なかなか運が伸びず、成功することもなくなるでしょう。

早く親・兄弟から離れることが成功の近道となります。

財運も大きいと言える反面、小さいとも言えます。

つまり、毎日の生活において、食べるに困ることはありませんが、残す程でははいということです。

どういうことかと言うと、ある一時期に大きく残すことがあつても、最終的には身につかないということになります。

20 癸未【性格】

性格は、温和で、人当たりが良く、激しさを前面に出さない人になります。

しかし、心の内には激しい闘志が隠れている人なのです。

表面は純粋で単純な人ですが、心の状態がそのまま出てしまうと、何かにつけて白黒をはっきりさせなくては気が済まない様なところがあります。

自分で気付くことなく、かなり強い口調で相手に訴える時があり、とことん追及するような状態となります。

結果として、自分で気付かず人に傷付けてしまうことが時にはあるでしょう。

見掛けが純粋で、単純で、それでいて人当たりが良いので、異性関係も多くなるでしょう。

良い悪いは別としましても、結婚後は充分に気を付けた行動をしないと、自分でも知らない内にトラブルに巻き込まれるでしょう。

要は異性からモテるのです。

20 癸未 【生き方】

生き方は、家系の流れを受け継いでいき、長男・長女の役割を果たしていく人生になるでしょう。

人生において結婚の時期に問題が多くなります。

表面と違い、内面の激しさ・闘争心から、どうしても自分の気持ちが直接出てしまった場合は、自分が好きな人には気に入られず、嫌いな人から好かれてしまったり、どうしようもなく嫌いな人と結婚まで進んでしまうことにもなります。